

事業報告

子どもゆめ基金20周年記念事業・教育事業

「はばだけ! Bandai Bilingual Kids!!」



【第1回】令和3年10月30日(土)～31日(日)

【第2回】令和4年 2月19日(土)

【参加者】福島県内の小学5年生～中学2年生

【場 所】国立磐梯青少年交流の家

(オンライン開催 含む)

◇事業趣旨

国際社会で活躍しようとする人材育成につなげることを目的に、地域の関係機関や地域在住の外国の方々との連携を図り、国際交流の視点から様々な国の言語や文化を体験させ、異文化理解や外国への興味・関心につなげる。

第1回 ○期日：令和3年10月30日(土)～31日(日) 1泊2日

○日程：

	10月30日(土)	10月31日(日)
午 前	<ul style="list-style-type: none">・受付(10:30～11:00)・開会式(11:00～)・オリエンテーション、アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none">・レクリエーション(英語)・伝統工芸品の説明文を英語で作ろう!
午 後	<ul style="list-style-type: none">・会津の伝統工芸品を作ろう!・世界の野外炊飯をしよう!・国を紹介し合おう!	<ul style="list-style-type: none">・振り返り・閉会式(14:00～)・解散(14:30頃)

○参加：14名(小学生12名、中学生2名)

◇研修トピックス

「アイスブレイク」

国際理解教育の視点から異文化理解や外国への興味・関心を高めるため、外国人の先生方4名(カナダ・バングラデシュ・タイ・フィリピン)を招き、様々な体験活動を通して楽しく外国の文化に親しんだ。具体的には、「自己紹介を兼ねたアイスブレイク」や「母国の紹介」を行っていただいた。



「世界の野外炊飯」

「世界4か国の郷土料理の野外炊飯」では、外国人の先生に教えていただきながら、調理を進めていった。一緒に調理をする中で、生きた英語に触れながら、日本の文化や生活様式の違いに気付いたり、新たなことを発見したりすることができた。会食の際には、外国人の先生と英語でコミュニケーションをとる姿が多く見られた。



「会津の伝統工芸品の紹介」

「会津の伝統工芸品」の説明を英語で作成し、発音練習等を先生方と行った。「会津の伝統工芸品を世界に広めることができ、うれしい。」「日本と外国の違いについて、とても勉強になった。」「外国人の先生や友達と仲良くなれてよかった。」など、喜びの感想が多く聞かれた。

第2回 ○期日：令和4年2月19日（土） ※オンライン開催

○日程：

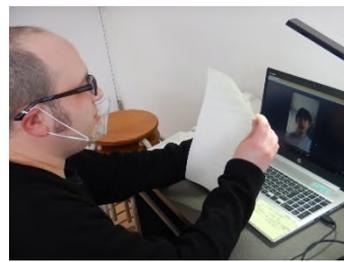
	2月19日（土）
午前	・オンラインによる開催（外国人の先生によるスピーチ指導）
午後	・オンラインによる開催（外国人の先生によるスピーチ指導）

○参加：5名（小学生4名、中学生1名）

「オンラインによる英語練習」

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインでの開催となった。GoogleMeet を活用し、外国人の先生による英文スピーチ練習を行った。各参加者の開始時間を事前に伝え、マンツーマンによる練習を行った。「第1回目」の開催で作成した英作文の発音やアクセントなどについて、外国人の先生と一緒に繰り返し練習した。最後には、参加者全員が聞き取りやすい発音や速さ・アクセントで話すことができるようになっていた。実際に外国人の先生から、直接褒められた際の笑顔が印象的であった。作成した英作文のスピーチ動画は、予め撮影しておいた会津の伝統工芸品の製作動画と合成・編集して1つの動画にし、動画配信サイトに投稿した。

「新しい生活様式に対応したオンラインでの事業実施」は、昨年度確立した方法であったため、円滑にオンライン開催をすることができた。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況により、臨機応変に取り入れていきたい。また、このノウハウを他の事業においても生かしたい。



◇成果と課題

<成果>

- いろいろな活動を外国人の先生と一緒にを行うことを通して、英語に親しむ良い機会となった。知っている英単語をつなげて、コミュニケーションを図ろうとする参加者の姿が多く見られた。
- 多くの国籍の先生をお招きし、プレゼンテーションを活用して説明をしていただいたことにより、たくさんの国々の地理や文化・習慣について学ぶことができた。そのため、外国への興味・関心を高めることができた。（アンケート Q7 の結果、数値が向上。）
- カナダ・バングラデシュ・タイ・フィリピンの各国の郷土料理を、各国の先生の指導の下、調理したり味わったりする中で、「もっと外国の料理を作りたい。」等の声が多く聞かれた。（アンケート Q5 の結果、数値が向上。）

<課題>

- 第1回「はばたけ・バイリンガルキッズ」の2日目が、英作文を作ったり発音を練習したりするだけの時間になってしまった。「英語を学ぶ」ではなく、「英語で学ぶ」というプログラムになるように工夫・改善したい。